

2007年6月20日

いすゞ、マレーシア生産事業を強化

いすゞ自動車株式会社(以下いすゞ)は、この度、ディーアールビーハイコム[DRB-HICOM Berhad] (以下 DRB-HICOM)とのマレーシアにおける生産合弁会社、マレーシアントラックアンドバス (Malaysian Truck and Bus Sendirian Berhad: 以下 MTB) の生産事業強化のため、同社へのいすゞ出資比率を現在の20%から51%へ引き上げることで、合意した。

MTB は、いすゞ (現出資比率 20%) とディーアールビーハイコム (現出資比率 80%) との合弁会社で、資本金は1億リンギット (約33億円)。

現在は、マレーシアの国民トラック「HICOM PERKASA (ハイコム・ペルカサ)」として販売されているNシリーズトラック (日本でのエルフ) と、Fシリーズトラック (日本でのフォワード) の生産、およびいすゞD-MAXピックアップトラックの委託生産等を行っている。

今回いすゞは、DRB-HICOM から31%の株式を取得して同社を連結化するとともに、社名をいすゞ・ハイコム・マレーシア (ISUZU HICOM MALAYSIA SDN. BHD) とする。新会社ではCEOとCOOをいすゞから派遣し、経営を主導していく。これにより、MTBは製品の品質向上とコストダウンを進め、商品力の一層の向上を図り、マレーシアにおける拡販を目指して行く。

現在のマレーシアにおけるいすゞCV (トラック) 事業は、MTBがKD生産を行い、現地販社がHICOMブランドで販売しており、2006年の販売台数は4,367台で、シェアは約25% (第二位)。またLCV(ピックアップトラック)事業では、いすゞマレーシアがMTBに生産委託し、完成車をいすゞブランドで販売しており、2006年の販売台数は2,000台で、シェアは約10% (第四位)。

いすゞは今回の生産事業強化により、更なるCV事業の強化・拡大を推進して行く。

マレーシアの自動車市場は、1997年の経済危機以降順調に回復し、2006年の自動車全需は45万台レベルになっており、その内商用車 (ピックアップ以上) は約4万台となっている。

以上

<参考>マレーシアントラックアンドバスの概要

会社名	Malaysian Truck and Bus Sendirian Berhad
所在地	パハン (Pahang) 州
資本金	1 億リングgit (約 33 億円)
主たる業務	国民商用車の輸入、製造、販売および各種自動車(乗用車/商用車)組立